

情報リソース(資源)等について

(1)「教室活動の方法の例一覧」

1. ロールプレイ(役割演技)

意義	・学習者同士や学習者と指導者の間で、「店員／客」、「医者／患者」などの役割を設定し、演じる。それぞれの役割における日本語表現等を考え、演じることで生活上の課題解決を図ることを意識した日本語学習ができる。
目的	・役割に基づいたコミュニケーションを体験し、「生活上の行為」を日本語で行えるようにする。
準備	1) 「店員／買い物客」や「医者／患者」などが書かれた「役割カード」を用意する。役割は「物を貸す側／借りる側」のような形でもよい。
手順	1) 参加者全員を役割の数と同じ数でグループ分けをする。 2) 各グループに「役割カード」を配る。 3) グループ内で役割について話し合う。 4) 各グループから1人、代表者を出し、全員の前でそれぞれの役割を演じる。 5) 演じた後で、意見や感想を出し合う。

2. シミュレーション(疑似体験)

意義	・「生活上の行為」の事例を擬似的に体験することで、その「生活上の行為」の事例や、その事例における日本語の表現についての理解を深めることができる。また、疑似体験を通して学習者が「生活上の行為」の事例にまつわる課題や問題を現実的な事として考えることができる。安全に関する「生活上の行為」は実際に体験することが難しいので、特に有効であると思われる。
目的	・疑似体験を通して具体的な行動様式及び日本語表現について学ぶと同時に、もの見方や捉え方、考え方を深める。
準備	1) シミュレーションに必要な関係機関や関係者の協力を得る。(地震に対する訓練の場合、消防署に起震車を依頼したり、火災に対する訓練の場合、消火訓練の協力をお願いしたりして、疑似体験を行うための条件・協力を整える。) 2) シミュレーションに必要な資料を用意する。可能であれば、多言語で用意することが望ましい。
手順	1) シミュレーションで取り上げる事象(例として地震や火災等)について体験したことがあるかどうか、その時の状況はどうだったか話し合う。 2) 日本語で話し合うのが難しい場合は、通訳を介し、シミュレーションに必要な情報を伝える。また、日本語指導者は「生活上の行為」を行う上で、最低限必要となる日本語について説明する。 3) シミュレーションで取り上げる事象を擬似的に体験する。(起震車の利用や消火訓練等。) 4) 疑似体験を基に、ある事象に対する対応策について話し合い、実際に行動してみる。(地震の場合、どのように避難したらよいか、どこに避難したら良いか話し合った上で、行動してみる。)

3. フォトランゲージ(写真を通した他者・異文化理解)

<p>意義</p>	<p>・「生活上の行為」に関連する写真を見て、その場面でどう行動するかについて話し合う。「生活上の行為」に対する理解や選択肢を広げることができる。</p> <p>・また、感じたことや考えたことについても話し合うことで、多様な対処法や捉え方があることを学ぶ。意見交換の過程で、固定観念を崩し、共通性や異質性、多様性に気付くことができる。</p>
<p>目的</p>	<p>・写真を通して、「生活上の行為」に対する理解や選択肢を広げる。また、異なる状況や文化、人物についての理解を深める。</p>
<p>準備</p>	<p>1) 写真（生活場面を写した写真、家族の写真等）を用意する。</p> <p>2) 写真に写っている実物で用意できるものがあれば、用意すると良い。</p>
<p>手順</p>	<p>1) 参加者を4～5名ずつのグループに分ける。</p> <p>2) 各グループに同じ写真を一枚ずつ配る。</p> <p>3) 写真に写っている場面や物や人について、それがどのような場面か、どのような物か、どのような人かを想像してみる。</p> <p>4) それぞれ、写真を見て、感じたことや想像したことを発言する。</p> <p>5) 一人ひとり異なる発言に耳を傾け、他者の行動や考え、思いを理解する。</p> <p>6) 異なる文化、習慣、様式について固定観念を取り払い、背景について理解する。</p>

4. ランキング(順位付け)

<p>意義</p>	<p>・ある課題についての解決方法を複数考え、それに対して解決方法の順位付け及び順位付けの根拠について考え、話し合う。解決方法の多様性や実現可能性について多面的に理解することができ、異文化での生活の助けとなる。</p>
<p>目的</p>	<p>・問題解決の方法やその過程について意見交換を行い、生活上の問題への解決方法の選択肢を増やす。</p>
<p>準備</p>	<p>1) ランキングシート（黒板や模造紙など）</p> <p>2) 筆記具</p>
<p>手順</p>	<p>1) 学習者個人個人で、ある課題に対する解決方法を複数書き出す（例えば、日本で友達をたくさん作る方法やあるいは日本語が上手になる方法など）。</p> <p>2) 各個人が書き出した解決方法に対して、それぞれ順位付けを行う。</p> <p>3) 順位付けした根拠を他者と話し合う。</p> <p>4) お互いの解決方法の違いを理解する。</p> <p>5) 自分自身の解決方法について選択肢を増やす。</p>

5. 実体験

意義	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活上の行為」の事例が行われる場所を訪問し、実際に体験する。日本語教室で学んだ日本語が実生活で使えることを実感し、日本語学習と生活を結び付けていくことができる。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験を通して、日本語学習と生活を結び付けると同時に、身近な地域や組織、社会の仕組みについて体験的に学ぶ。
準備	<ol style="list-style-type: none"> 1) 必要に応じて、実体験を行う場所や機関等に連絡をし、協力を依頼する。 2) 手紙や宅配便など実体験に必要なものを用意する。
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1) 郵便局等、実体験を行う場を訪問する。 2) 訪問先で必要な手順に沿って「生活上の行為」を行う。 (手紙や郵便を出す場合、①郵便局の受付に行き、切手や葉書等を購入する、②送り先を記入し、実際に送ってみる等。)

6. 施設見学

意義	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域において利用できる公共施設等を訪問し、利用内容や方法について知ること、場面と結び付けて日本語を学ぶことができる。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の利用ができるようになるだけでなく、場面と密着した形で日本語を学ぶ。
準備	<ol style="list-style-type: none"> 1) 施設見学を企画する。 2) 必要に応じて、施設見学を行う場所や機関等に連絡をし、案内等の協力を依頼する。
手順	<ol style="list-style-type: none"> 1) 施設見学を行う場所を訪問する。(図書館等) 2) 利用方法や過ごし方について知るために、施設見学を行う。(図書館の場合、図書館カードの作成や利用の際に必要な手続きを行うと良い。) 3) 母国との違いや共通性について話し合う。 4) 疑問と感じたことを質問する。

(2) 教室活動を行う際の参考資料リスト

1. 生活情報

名称	使用言語	内容	入手方法	作成者
日本語学習・生活ハンドブック	日本語 英語 韓国・朝鮮語 中国語 スペイン語 ポルトガル語	・我が国で生活を始めようとする外国人の方々の日本語学習に資するための情報を提供している。 ・「制度」「労働」「子供の教育」「病院」「日本語学習」など。	http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html からダウンロードすることができる。	文化庁文化部国語課
中国からの帰国者のための生活日本語Ⅰ	日本語 中国語	・対象を限定した教科書だが、場面ごとに生活情報についての説明部分がある。	市販教科書 (1990円：税別)	文化庁文化部国語課
多言語生活情報	日本語 英語 中国語 韓国・朝鮮語 スペイン語 ポルトガル語 タガログ語	・外国人が日本で生活する上で必要な情報（17領域）が各言語ごとに記載されている。	http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/index_d.html からダウンロードすることができる。	財団法人 自治体国際化協会 (CLAIR)
多言語医療問診票	日本語 インドネシア語 英語 カンボジア語 スペイン語 タイ語 タガログ語 中国語(北京語) ハングル版 ベトナム語 ペルシャ語 ポルトガル語 ラオス語 ロシア語 フランス語	・各診療科及び言語ごとに日本語と各言語が対訳の形でまとめられている。	http://www.k-i-a.or.jp/medical/ からダウンロードすることができる。	NPO法人 国際交流ハーティ港南台 財団法人 かながわ国際交流財団

2. 日本語指導者用資料

名称	使用言語	内容	入手方法	作成者
リソース型 生活日本語	日本語 ※以下、目次のみ ベトナム語 中国語 韓国語 ポルトガル語 スペイン語 英語 日本語 ミャンマー語 カンボジア語 ベルシャ語	・「生活者としての外国人」を対象とした教材素材のデータベースである。 ・指導者が生活場面に合わせた教材作成を行う際の参考になる。	http://www.ajalt.org/ からダウンロードすることができる。	社団法人 国際日本語普及協会
はじめの 500語	英語 中国語 ベトナム語 ビルマ語 タイ語 シンハラ語 アムハラ語 ベルシャ語 アラビア語 フランス語 スペイン語 ポルトガル語 ネパール語 トルコ語 ロシア語	・基本生活語彙500語について、翻訳を付している。	http://support21.or.jp/ からダウンロードすることができる。	社会福祉法人 さぼうと21
6か国語 保育の会話 &文書便利帳	日本語 中国語 韓国語 ポルトガル語 スペイン語 フィリピン語 英語	・幼児を育てている保護者とその保護者に接する側とがコミュニケーションする15場面の表現を日本語と6言語の対訳で学べる。 ・園からの代表的な通知文の雛形6言語翻訳CD-ROMが付属している。	市販教材(4,600円税別)	編者：外国人の子どもの保育研究会 発行：株式会社 チャイルド社
にほんご宝船 (いっしょに作る活動集)／にほんご宝船(教える人のための知恵袋)	日本語	・地域における「生活者としての外国人」とトピックごとにやり取りを通じて学び、交流するための活動素材集及び指導者用手引き書。	市販教材(前者：1000円、後者：2000円各税別)	監修：春原憲一郎 発行：株式会社アスク 語学事業部

<p>こんにちは、 にほんご！</p>	<p>日本語 英語 中国語 韓国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活者としての外国人」のための行動、場面別の表現及び語彙集で、日本語の特徴について簡単な解説もしている。 ・日本語学習者向けの教材であるが、教室活動を考える上で参考になる。 	<p>市販教材(1300円税別)</p>	<p>著者：てくてく日本語教師会 発行：株式会社ジャパンタイムズ</p>
<p>ブラジル人のためのニッポンの裏技</p>	<p>ポルトガル語 日本語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジル人のための生活行動場面別の表現及び語彙集で、一部簡単な情報提供もしている。 ・教室活動を考える際の資料として活用できる。 	<p>市販教材(1500円税別)</p>	<p>著者：松田真希子 発行：春風社</p>
<p>日本語学習者会話データベース</p>	<p>日本語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OPI（オーラル・プロフィシエンシー・インタビュー）場面での日本語学習者とテストターの会話データ390件。 ・学習者の属性情報とレベル判定が付いている。 ・指導者が教室活動や学習者の日本語を考える際の基礎的な資料として活用できる。 	<p>国立国語研究所 日本語教育ネットワークの「研究用データ」 http://dbms.kokken.go.jp/nknet/ndata</p>	<p>独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター整備普及グループ</p>
<p>日本語会話データベース ：縦断調査編</p>	<p>日本語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が分散して居住する地域と集住する地域で収録した日本語学習者の会話データ。 ・指導者が教室活動や学習者の日本語を考える際に基礎的な資料として活用できる。 	<p>国立国語研究所 日本語教育ネットワークの「他の研究用データ」 http://dbms.kokken.go.jp/nknet/ndata2</p>	<p>独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター整備普及グループ</p>
<p>国立国語研究所作成ツール「学習と教育（ツール・素材）」</p>	<p>日本語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・擬音語・擬態語の指導や学習、カラオケを活用した日本語指導、学習者が習得困難としがちな子音・母音・音節等の指導（発声発語訓練）などに、指導者がそのまま教室活動に活用できる実例や素材（イラスト、録音音声、ソフトウェア等）を収録している。 ・このうち「発声発語訓練例文集」は学習者の母語の違いに対応するため、韓国人・タイ人・中国人・マレーシア人・インドネシア人の学習者用の例文や音声を収録している。 	<p>国立国語研究所 日本語教育ネットワークの「学習と教育（ツール・素材）」 http://dbms.kokken.go.jp/nknet/ntool</p>	<p>独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター e-japanプロジェクト</p>

<p>「生活のための日本語・全国調査」結果報告<速報版></p>	<p>日本語 韓国語 中国語 英語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で生活するために必要な日本語能力を明らかにして日本語の指導者や学習者に利用しやすい形で提供することを旨とした調査研究の成果資料。 ・日常生活での日本語使用状況、日本語についての問題意識、日本語へのニーズ等の調査データは、教師が生活者としての日本語や教室活動を考える際の基礎的な情報として活用できる。 	<p>http://www.kokken.go.jp/katsudo/seika/nihongo_syllabusからダウンロードすることができる。</p>	<p>独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター学習項目グループ</p>
<p>日本語学習者による日本語作文と、その母語訳との対訳データベース（作文対訳DB）</p>	<p>日本語 ※母語訳として以下の言語 ドイツ語 英語 フィンランド語 フランス語 ヒンディ語 ハンガリー語 インドネシア語 カンボジア語 韓国語 モンゴル語 マレー語 オランダ語 ポーランド語 ポルトガル語 スロベニア語 タイ語 ヴェトナム語 中国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習者による日本語作文と、執筆者本人によるその母語訳（または最も楽に書ける言語への翻訳）を収集し、対照できる形でデータベース化したもの。 ・参考データとして、日本語母語話者による作文例や、一部作文データについては添削情報も付与されている。 ・学習者の母語によって日本語作文にどのような特徴があるか（誤用・不自然表現の傾向、文章構成上の指向性等）を踏まえた上で作文の添削・指導をする際の参考にできる。 	<p>http://jpforlife.jpからダウンロードすることができる。</p>	<p>独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター評価基準グループ</p>

<p>日本語学習者による日本語／母語発話の対照言語データベース（発話対照DB）</p>	<p>日本語 ※母語発話として、以下の言語 韓国語 タイ語 中国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習者による日本語発話（朗読、スピーチ、ロールプレイ）と、ほぼ同内容の母語発話とを録音、文字化し、データベース化したもの。 ・参考データとして、日本語母語話者による日本語発話例も含まれている。22年3月現在、スピーチ、ロールプレイの文字化データをwebページから公開。 ・学習者の母語によって日本語発話にどのような特徴があるか（誤用・不自然表現の傾向、談話構成上の指向性等）を踏まえた上で発音や発話の指導にあたるための参考となる。 ・また音声データも併せ参照することにより、母語発話からの干渉の有無についても検証しながら発音指導にあたることができる。 	<p>http://jpforlife.jp からダウンロードすることができる。</p>	<p>独立行政法人 国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター評価基準グループ</p>
---	---	--	--	---

3. 「生活者としての外国人」を対象とした日本語学習サイト

名称	使用言語	内容	URL（アドレス）	作成者
とよた日本語学習支援システム	日本語 ポルトガル語	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひらがな」「カタカナ」「履歴書」「はなすれんしゅう」のページがあり、練習が可能。 	<p>http://www.toyota-j.com/</p>	とよた日本語学習支援システム

(3) 活用例 (実践例)

①「生活上の行為」の事例：「0801020 必要な品物を扱う店等を探す」

大目標	03 消費活動を行うことができる
中目標	05 物品購入・サービスを利用することができる
小目標	08 物品購入・サービスを利用することができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知人や友人に店の場所を聞くことができる ・ 知人や友人にどんな店か聞くことができる ・ 電話帳で店を特定することができる ・ 新聞の広告を理解することができる

・ 教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. 商品名、地域のお店の名前を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や広告（の切り抜き）等を用いて商品の名前を確認し、町の地図や写真等を用いて店の場所と名前を確認する。 ・ ひらがな、カタカナ、漢字については必要に応じ、五十音表などを用いて読み方を確認する。 	
<p>2. 必要な品物を探す店について尋ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町の地図等を用いながら、学習者が欲しい品物がある店の場所を尋ね、指導者が答える練習をする。また学習者同士でロールプレイを行う。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【会話例】</p> <p>学習者：「キャベツはどこで売っていますか？」</p> <p>指導者：「〇〇スーパーで売っています。」</p> <p>「〇〇スーパーです。」</p> </div>	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)
<p>3. 店探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者以外の周りの人に学習者が欲しい商品売っている店を聞き、実際に店を訪ねて、買い物をする。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実体験 (xxページ参照)

②「生活上の行為」の事例：「0103010 医者の診察を受ける」

大目標	01 健康・安全に暮らすことができる
中目標	01 健康を保つことができる
小目標	01 医療機関で治療を受けることができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ 症状を伝えることができる ・ 医者の診察，指示が理解できる

・ 教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. 体の部位の名称，症状を表す表現を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体図を用いて，体の部位の名称を理解する。 ・ 症状を表す表現の日本語と母語の対照表を用いて，日本語での言い方を確認する。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)
<p>2. 医者が発する指示の表現を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病名と対処の表現の日本語と母語の対照表を用いて，日本語での言い方を確認する。 ・ 指導者が医者役となり，医師が発する指示の主なものを例示する。 	
<p>3. 医者の診察を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者や日本人協力者に症状を伝え，診察を受ける練習をする。また，学習者同士でロールプレイを行う。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【会話例】</p> <p>学習者：「喉が痛いんですが。」</p> <p>指導者：「口を大きく開けてください。」， 「お風呂に入らないでください。」</p> </div>	

③「生活上の行為」の事例：「1002060 目的地への行き方を尋ねる」

大目標	04 目的地に移動することができる
中目標	07 公共交通機関を利用することができる
小目標	10 電車，バス，飛行機，船等を利用することができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的地への行き方を聞くことができる ・ 目的地への行き方の説明を理解することができる ・ 駅名，行き先などの駅の表示が理解できる

・ 教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. 学習者にとって身近な地名，駅名を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺の地図，写真，路線図等を用いて，その場所の名前や駅名，交通機関や路線図の名称を確認する。 ・ 駅名については，その文字（漢字）を見て，読み方を認識する。 	
<p>2. 目的地への行き方を尋ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者が，交通機関を利用しての目的地への行き方を例示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【会話例】</p> <p>学習者：「代々木へは，どうやって行ったらいいですか。」</p> <p>指導者：「この電車に乗って，新宿で山手線に乗り換えてください。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来，学習者が尋ねられる場合を想定して，尋ねる側，答える側双方の練習をしてもよい。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)
<p>3. 行き方を尋ねて，その場所へ行く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者や周りの人に行き先を尋ね，実際にそこへ行ってみる。 ・ 活動が教室内に限定される場合は，答えを聞いて地図上もしくは路線図上で行き方を示す。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実体験 (xxページ参照) ・ 疑似体験 (xxページ参照)

④「生活上の行為」の事例：「3102070 私的な場面で自己紹介をする」

大目標	07 人とかかわることができる
中目標	14 他者との関係を円滑にすることができる
小目標	31 人と付き合うことができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの種類を選択できる ・ 場面に応じた表現ができる

・ 教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. 自己紹介に必要なことばや表現を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつのことばを確認し、その中で初対面の時に用いる表現を認識する。 ・ カレンダーを使って、年月日の言い方を確認する。 ・ 親族名称を家系図等のシートを使って確認する。 	
<p>2. 学習者固有の自己紹介の構成要素の表現方法を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の出身地（国）の名称の、日本における発音を確認する。 ・ 来日年月の言い方を確認する。 ・ 自分の家族構成を表わすのに必要な親族名称と、その人数の言い方等について確認する。 ・ 日本において一般に使用される自分の名前の発音の仕方を確認する。 	
<p>3. 自己紹介をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室内において、一人一人が他の学習者に向けて自己紹介をする。 ・ 学習者同士、または指導者と自己紹介をし合う。 ・ 初対面の人が集まる場所で、もしくは初対面の人に対して、実際に自己紹介をする。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑似体験 (xxページ参照) ・ 実体験 (xxページ参照)

⑤「生活上の行為」の事例：「3401080 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する」

大目標	08 社会の一員となることができる
中目標	15 地域・社会のルール・マナーを守ることができる
小目標	34 住民としてのマナーを守ることができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣人に分からないことを質問することができる ・ 隣人の説明を聞いて理解することができる

・ 教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. ゴミの分別に関して理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分別ゴミの種類や収集日などが書かれた役所のホームページ、ちらし、説明書などを用いて、居住地域のゴミの正しい分け方、出し方を理解する。 ・ 実物や絵、写真を用いて分別ゴミの種類や物の名前を確認する。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)
<p>2. 分別ゴミのちらし等を見ながら、ゴミの出し方の説明を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実物のゴミ袋や種々のゴミを用いて、分別ゴミ、ゴミ出しの仕方を理解する。 ・ 日本語指導者のほか、役所の担当者などが指導者として考えられる。 ・ ゴミの分別の種類、物品の名称、収集日を確認する。 	
<p>3. 隣人に引越しのあいさつに行き、ゴミの出し方について聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちらし等でゴミの分別について知識を得ておく。 ・ 学習者がゴミの出し方について質問し、指導者が隣人の役となり、答える。また、学習者同士でロールプレイを行う。 ・ 隣人に引越しの挨拶をした後、ゴミの出し方について質問する。 	

4. ゴミを種分けし、ゴミ出しをやってみる

- ・地域のゴミ袋，種類別に捨てるものを用意し，教室でゴミ捨てるの体験をする。
- ・学習者に間違いがあったら，質問して気付かせる。
- ・学習者に分からないことを質問させる。

5. ゴミ集積所の看板を読んで，理解する

- ・ゴミの集積場所を確認する。
- ・ゴミ集積場所にあるゴミの出し方を表示した看板を読んで理解する。
- ・看板に書かれた文字，語彙の発音，意味を確認する。

6. ゴミの出し方を間違えて注意される

- ・指導者は近所の人々の役割をする。
- ・注意されたときの対応の仕方，表現をアドバイスする。

【会話例】

近所の人：「そのゴミは今日は出せませんよ。」

学 習 者：「すみません。これは何曜日ですか。」

近所の人：「それは資源ゴミだから，土曜日ですよ。」

学 習 者：「ありがとうございます。引っ越して来たばかりで，困っています。」

<活動方法の名称>

- ・疑似体験
(xxページ参照)

<活動方法の名称>

- ・実体験
(xxページ参照)

<活動方法の名称>

- ・ロールプレイ
(xxページ参照)

⑥「生活上の行為」の事例：「4403030（地域の公共施設（図書館、スポーツセンター等）の利用方法を尋ねる）」

大目標	09 自身を豊かにすることができる
中目標	20 余暇を楽しむことができる
小目標	44 余暇を楽しむことができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の希望を伝えることができる ・説明の内容を理解することができる ・提示された書類等を読んで理解することができる

・教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. 近隣の図書館の場所と図書館のしくみを理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用案内や館内の案内図を用いて、図書館の場所や、行き方、サービス内容等を理解する。 ・利用登録申込書や図書カードを用いて、図書の貸し出しの方法、手続きを理解する。 ・利用登録申込書に住所、氏名、生年月日等を書く練習をする。 ・図書館内の表示を読んで理解する。 	
<p>2. 借りたい本を探して、借りるための手続をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が図書館職員の役割りをする。 ・学習者は借りたい図書のありかを聞いて、探す。 ・学習者は借りる方法や貸し出し期間、利用冊数を聞いて、理解する。 ・利用申込書に記入する。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ (xxページ参照)
<p>3. 図書館に行き、本を借りる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館へ行って、館内を見学し、施設の利用の仕方を理解する。 ・借りたい本を見つけて、借りる手続きをし、自分の図書カードを作る。 ・返却の方法について尋ねる。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実体験 (xxページ参照)

4. 借りたい本がない場合、希望する図書の予約をする

- ・ 読みたい本が貸し出されていたり、図書館にない場合、希望図書を書いて予約する。
- ・ 予約のために必要な情報を説明書や図書の予約カードから読み取る。
- ・ 予約の手続きをする。

<活動方法の名称>

- ・ 実体験
(xxページ参照)

⑦「生活上の行為」の事例：「4701100 電話をかける」

大目標	10 情報を収集・発信することができる
中目標	21 通信することができる
小目標	47 電話・ファクシミリを利用することができる
能力記述	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手呼び出してもらすることができる ・ 言語のみで説明することができる

・ 教室活動の展開の例

教室活動の内容	情報リソース
<p>1. 勤務場所を休む場合や、遅刻する場合について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな状況のときか、原因、理由について話し、語彙表現を学習する。 ・ 会社等の部署名、役職名の例を挙げて、学習者の勤務先の部署、上司の役職名等を確認する。 	
<p>2. 勤務先に電話をかけて、上司を呼び出してもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話でのやりとり、呼び出しに必要な表現を学習する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【会話例】</p> <p>学習者：「もしもし、マリアですが、鈴木課長はいらっしゃいますか。」</p> <p>指導者：「ちょっとお待ちください。」</p> </div>	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)
<p>3. 欠勤や遅刻の理由、原因を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者が上司になって、練習する。学習者同士でも練習する。 ・ 学習者が言いたい欠勤や遅刻の理由や状況を聞き出し、練習する。 ・ 事前に伝えられなかったことを説明する表現を学ぶ。 ・ 電話を切るときの表現を学ぶ。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)
<p>4. 上司が不在の場合に伝言を頼む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠勤や遅刻の原因・理由となる状況を説明する。 ・ 伝言をお願いする表現を学ぶ。 ・ 指導者と学習者で役割りを決めて、練習する。 	<p><活動方法の名称></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ (xxページ参照)